

2026 年 8 月 25 日

各位

会 社 名 Chordia Therapeutics 株式会社
代 表 者 名 代表取締役 三宅 洋
 (コード番号：190A 東証グロース市場)
問 合 せ 先 コーポレート部長 岡谷 大
 TEL : 03-6661-9543
 MAIL : info@chorditherapeutics.com

CLK 阻害薬 rogocekib の日本における再発又は難治性急性骨髄性白血病を 対象とした希少疾病用医薬品指定に関するお知らせ

Chordia Therapeutics 株式会社（本社：神奈川県藤沢市、代表取締役：三宅洋）は、2026 年 7 月 28 日付「CLK 阻害薬 rogocekib の希少疾病用医薬品指定に向けた審査状況に関するお知らせ」にてお知らせしたとおり、当社のリードパイプラインである CLK 阻害薬 rogocekib が再発又は難治性の急性骨髄性白血病（AML）を対象として、厚生労働省より希少疾病用医薬品に指定されました。

このたび指定を受けた希少疾病用医薬品制度は、患者数が少なく医療上の必要性が高い疾患を対象とした医薬品について、その研究開発を支援し実用化を促進することを目的とした制度です。

本指定を受けることにより、試験研究費への助成金交付等の各種支援措置の対象となり、規制当局との連携を図りながら開発を進めることが可能となります。

当社は、本指定を rogocekib の開発推進につながるものと捉えており、rogocekib を必要とする患者さんへ一日でも早くお届けできるよう、引き続き開発を推進してまいります。

なお、本件による当社業績への影響はありません。

CLK 阻害薬 rogocekib（開発コード：CTX-712）について

rogocekib は、細胞増殖に重要な役割を果たす RNA スプライシング反応の主要な制御因子である CDC2 様キナーゼ（CLK）に対するファーストインクラスの選択的な経口型の低分子阻害薬です。FDA から AML 適応でのオーファンドラッグ指定（Orphan Drug Designation（ODD）：希少疾病用医薬品指定）を受けており、現在、米国の第 1/2 相臨床試験を実施しています。

Chordia Therapeutics 株式会社について

当社は、臨床開発品を擁するがん領域専門の研究開発型バイオベンチャーとして、神奈川県藤沢



市に本社を置き活動しています。当社のリードパイプラインである CLK 阻害薬 rogocekib (CTX-712) は、米国での第 1/2 相試験を進行中です。rogocekib は、がんの脆弱性をターゲットにしており、有望な治療薬としての可能性が期待されています。また、当社は、リードパイプラインの rogocekib、MALT1 阻害薬 ocipumaltib (CTX-177) に加え、CDK12 阻害薬 CTX-439、GCN2 阻害薬など、複数のパイプラインの研究開発に取り組んでいます。

詳細は、当社ウェブサイト (<https://www.chorditherapeutics.com/>) をご覧ください。